

【 第 5 5 回熊本大学定例学長記者懇談会 】

日 時：令和8年4月8日（水） 14：00～15：00（予定）

場 所：本部棟1階 大会議室

本学出席者：熊本大学長

小川 久雄

理事（グローバル戦略・研究地域連携担当）

大谷 順

理事（広報・ブランディング・行政連携担当）

宮尾 千加子

内 容：

1. 「ワンタイムエナジー共同研究講座」の研究内容について（資料1）
産業ナノマテリアル研究所 特任教授 阪本 聡
2. 熊本大学文書館の取り組みについて（資料2）
文書館 特任助教 香室 結美
3. UAAT-KOOU華語教育センターと本学との連携について（資料3）
グローバル戦略・研究地域連携担当理事 大谷 順
UAAT-KOOU 華語教育センター講師（台湾・国立中山大学） 洪 宝芳
4. その他

令和8年4月8日開催
熊本大学定例学長記者懇談会
資料1

「ワンタイムエネルギー共同研究講座」の 研究内容について

2025年4月8日

熊本大学
産業ナノマテリアル研究所
ワンタイムエネルギー共同研究講座
特任教授 阪本 聡

共同研究講座から包括連携協定締結へ

背景

熊本大学が過去50年間にわたり培ってきた極限プロセス環境を利用した衝撃エネルギー関連の研究成果(技術)とダイセルが持つ技術“ワンタイムエネルギー”技術とのシナジーを発現し、新たな探索研究を推進することで、まだ世の中にはない新たな価値を共創し、物質科学及び安全・安心に関わるデバイスの技術の深耕化と社会実装を目指すために、2022年10月に「ワンタイムエネルギー共同研究講座」を開設

包括連携へ

目的

更なる産学連携強化と研究テーマ(共同研究講座)の拡大と社会実装に向けた深耕化により、ダイセルが創業以来培ってきたユニークな素材や技術を最大限に活用し、“健康(ヘルスケア)”、“安全・安心”、“便利・快適”、“環境”の4つの事業領域において、まだ世の中にはない新たな価値を共創して社会実装に繋がる研究、人材育成、地域連携等について、相互に協力し、双方及び地域社会の発展に寄与する連携を推進するための枠組みについて、相互の意思確認



2023年5月8日 Sustainable Value Together

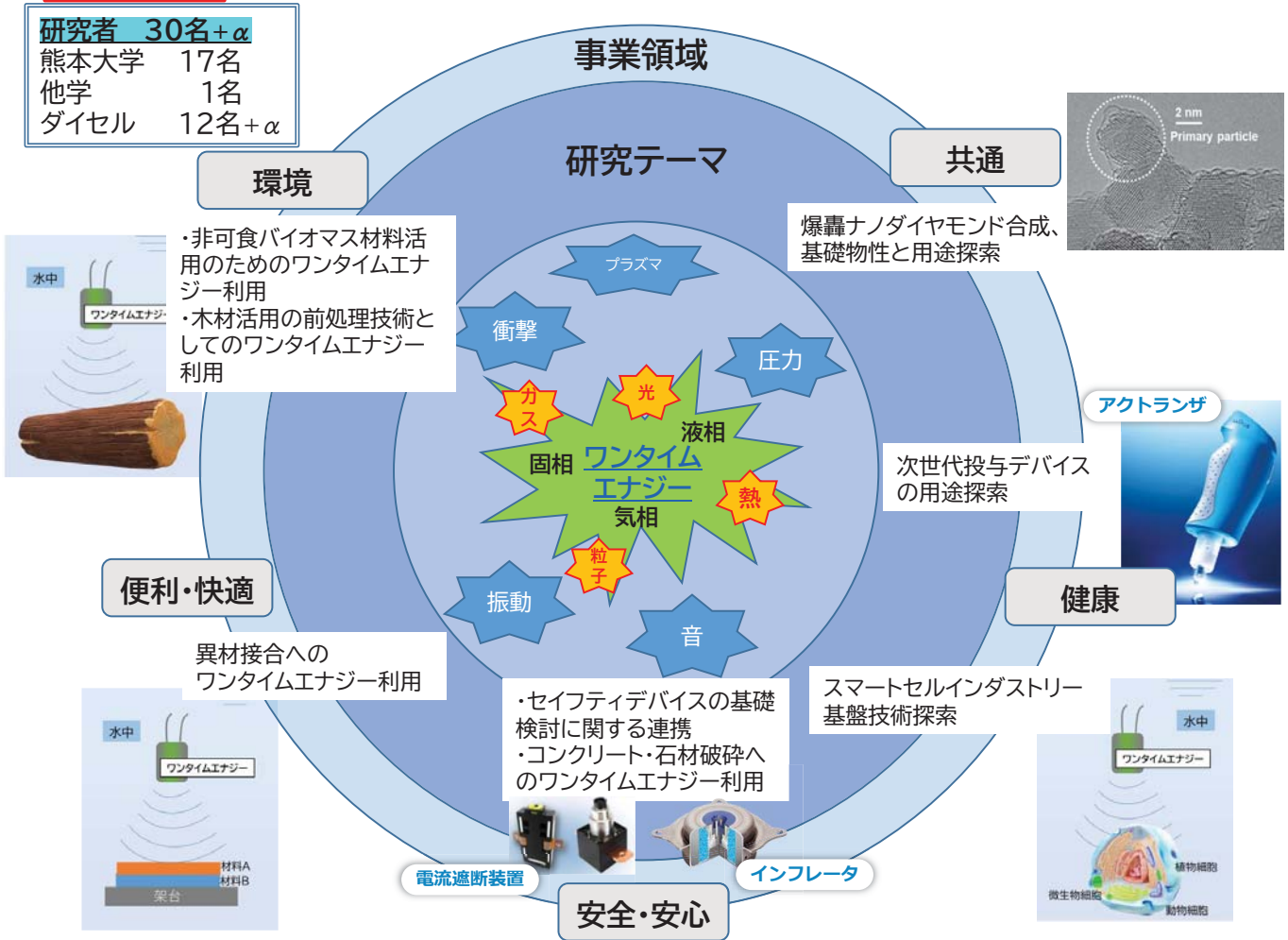
連携協力(まだ世にはない新たな価値の創造)

健康(ヘルスケア)、安全・安心、便利・快適、環境の4つの事業領域に関わる機器・装置・システム等の研究開発及び実用化に関して、連携協力を行う

- | | |
|-------------|---|
| 【共通】 | ・爆轟法ナノダイヤモンド合成及び基礎物性 |
| 【健康(ヘルスケア)】 | ・次世代投与デバイスの用途探索
・スマートセルインダストリー基礎技術探索 |
| 【安全・安心】 | ・セイフティデバイスの基礎検討に関する連携 |
| 【便利・快適】 | ・異材接合へのワンタイムエネルギー利用 |
| 【環境】 | ・森林資源(木材)活用のためのワンタイムエネルギー利用 |

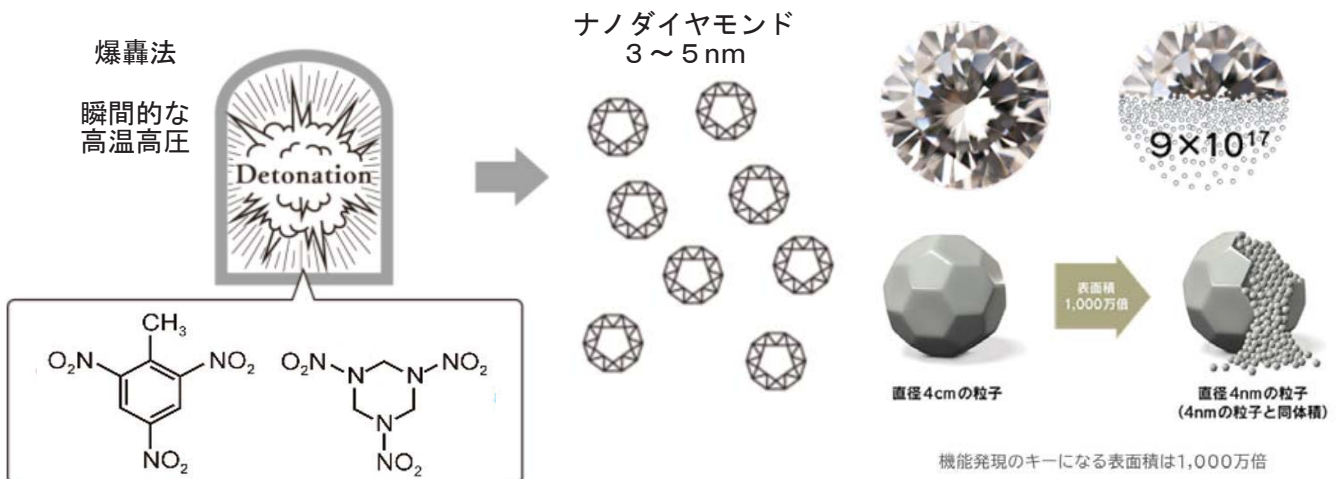
CONFIDENTIAL

共同研究の全体像と研究テーマ



CONFIDENTIAL

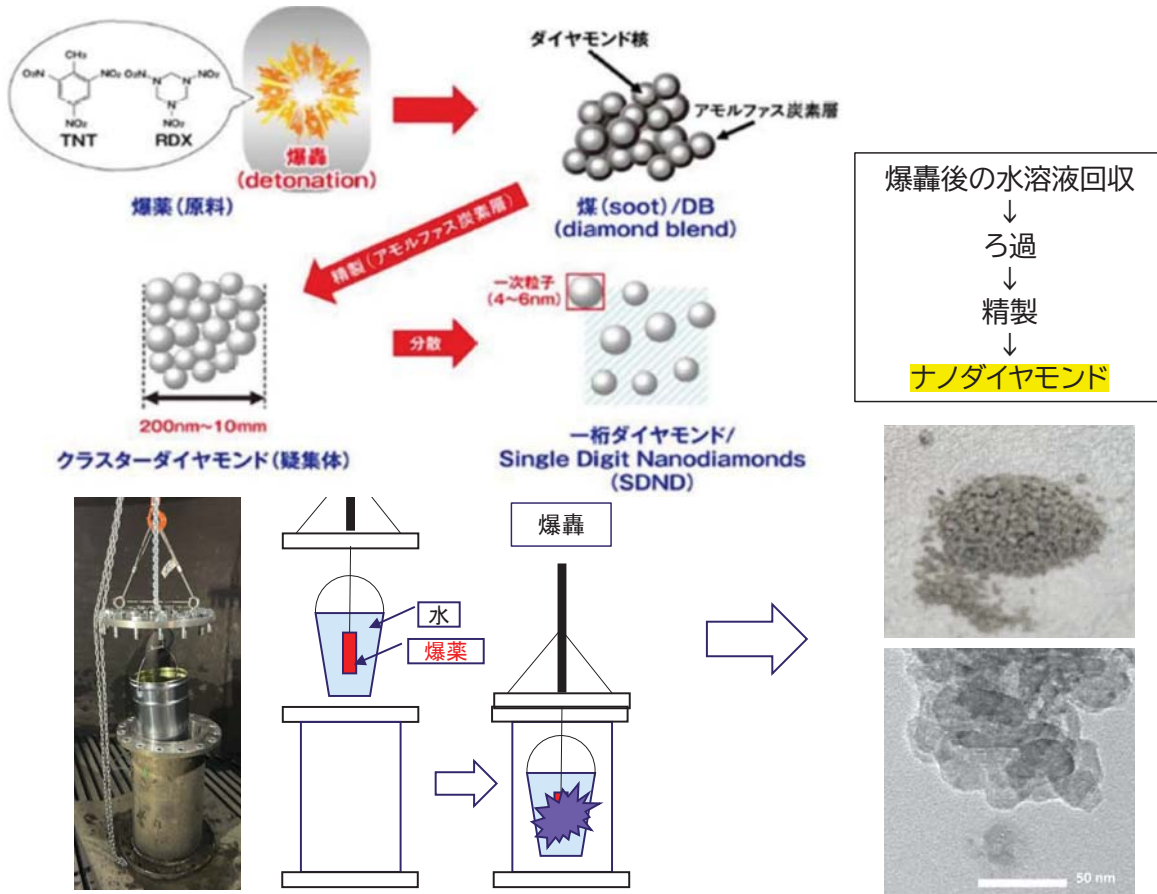
爆轟法ナノダイヤモンドの研究



- ・ダイヤモンドは地球上で最も硬く、どんな金属よりも高い熱伝導率を持つ一方で電気は通さず、高屈折率と高アツバ数を併せ持ち、化学的に非常に安定で、いかなる酸やアルカリとも反応しないユニークな材料
- ・ナノダイヤモンドは、ダイヤモンドの特性に加え、圧倒的な小ささ(数ナノメートル)と数が、様々な新ソリューションの発現可能性有
- ・ナノダイヤモンド表面が他の材料との接触界面で機能するようなアプリケーションにおいては、良好に分散させることによってその機能を最大限に発揮可能性有

爆轟法ナノダイヤモンドの研究

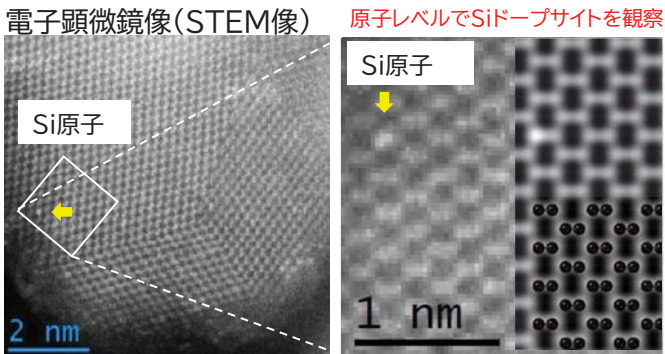
【爆轟法ナノダイヤモンドの製造方法】



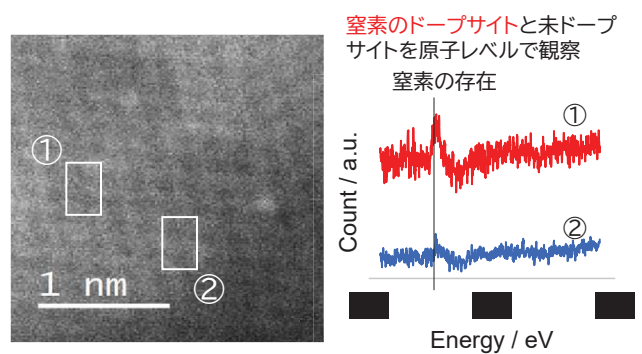
爆轟ナノダイヤモンドの研究

【ナノダイヤモンドの構造解析】

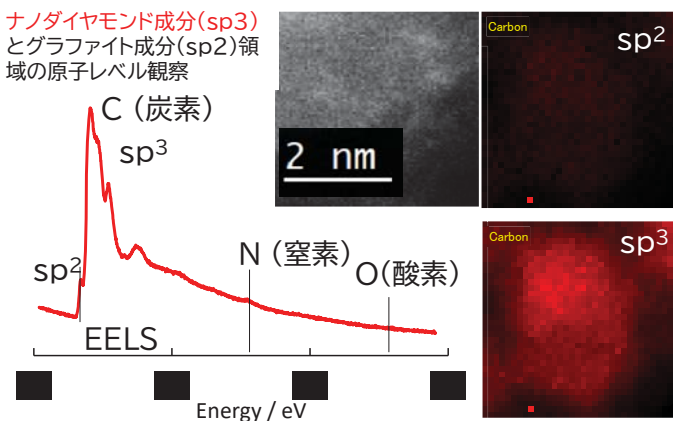
1. Si-ドーピング・ナノダイヤモンド中のSi原子分散状態の原子レベル観察



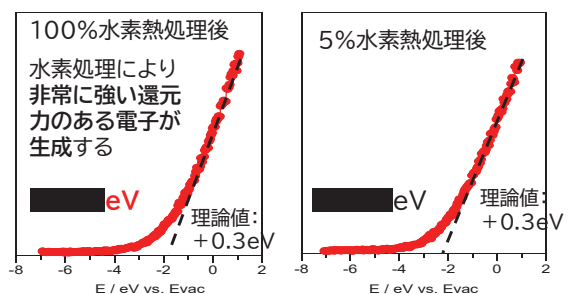
2. ナノダイヤモンド中の窒素の分散状態の観察 STEM-EELSによるNの化学状態分析



3. ナノダイヤモンド(sp³)表面のsp²炭素の解析



4. 逆光電子分光法を用いたダイヤモンドの伝導帯エネルギー位置の直接測定

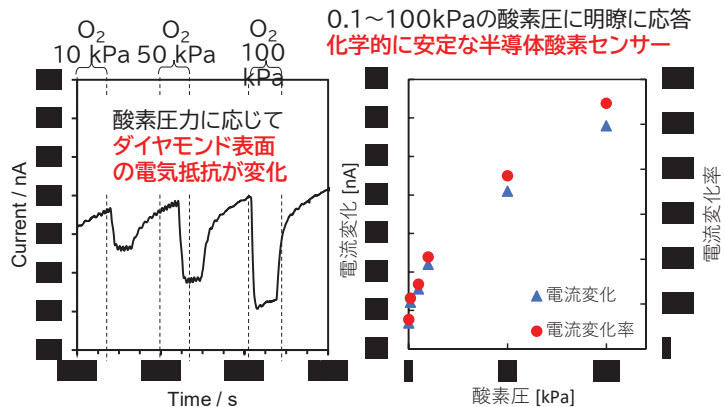
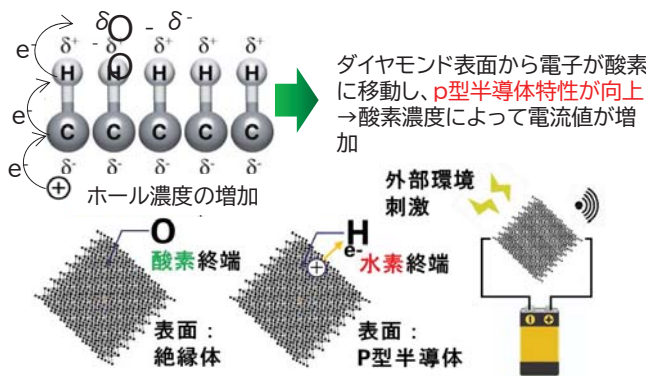


光励起によって外部に放出される電子エネルギーは表面処理状態に影響を受けることをこの結果は示している。
 →光CO₂還元は表面状態に強く依存することを示唆

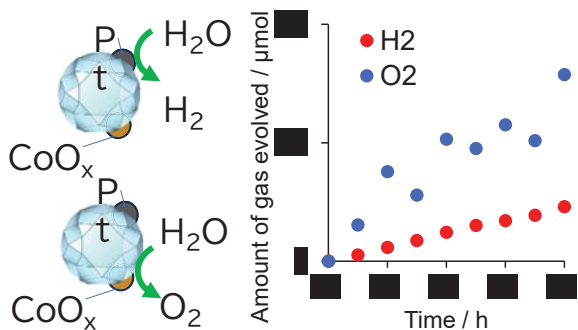
爆轟ナノダイヤモンドの研究

【ナノダイヤモンド機能探索】

1. 水素終端ナノダイヤモンド表面の電気抵抗変化を利用したダイヤモンド半導体ガスセンサー



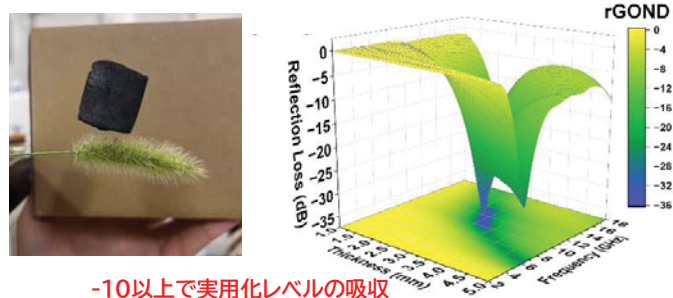
2. ナノダイヤモンドを用いた光触媒



ダイヤモンドの光励起で生成した電子や正孔を利用することで
水素生成や酸素生成を確認
グリーンH₂、CO製造のための光触媒へ応用可能

3. ナノダイヤモンドを利用したマイクロ吸収材料

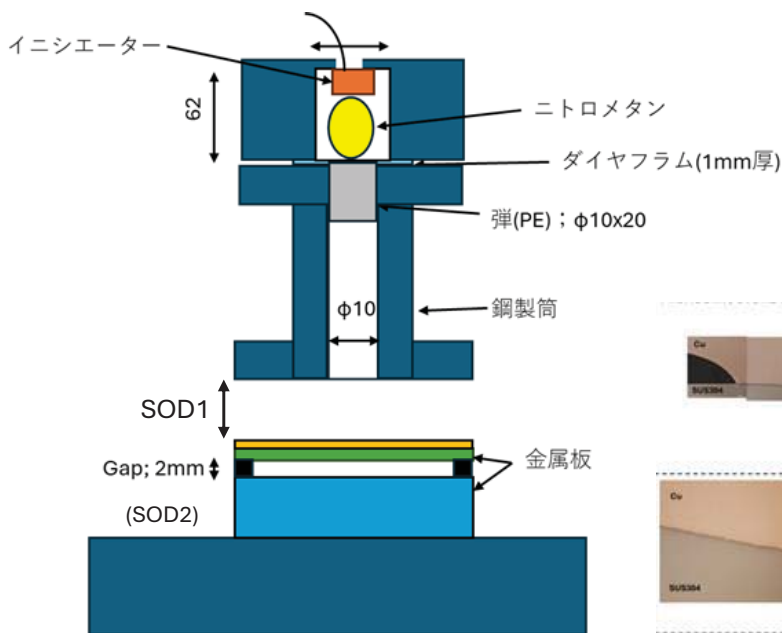
ナノダイヤモンド/還元酸化グラフェン aerogel



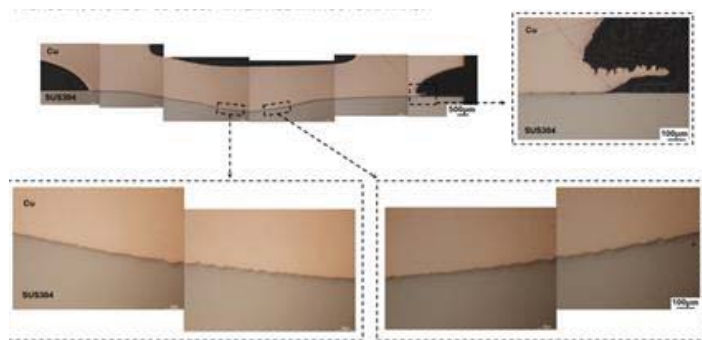
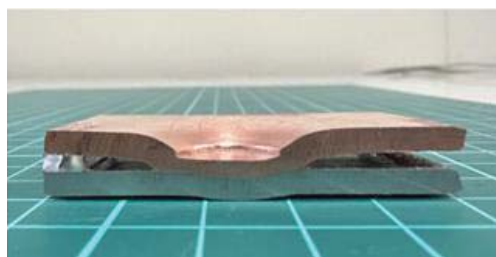
ナノダイヤモンド/還元酸化グラフェン aerogel はマイクロ波を
特異的に吸収→ス付きダイヤモンドをそのまま利用できる可能性

異種材料接合の研究

イニシエータ+ニトロメタンを利用した高速加速に基づくスポット異材接合研究 “ワンタイム接合機(仮称)”



試験装置
特許出願中



Cuとステンレス鋼の接合に関する成功例

ワンタイム救助機(仮称)の研究

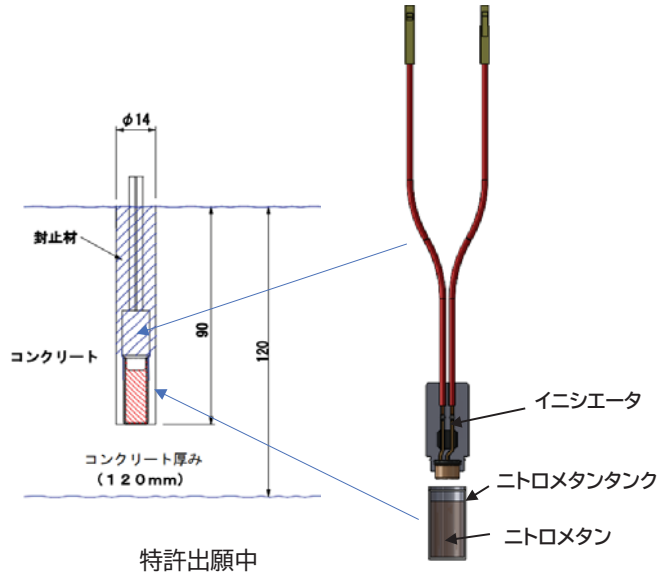
イニシエータ+ニトロメタンを利用したコンクリート破壊(切断)技術の研究

【救助ブリーチング】



・倒壊した建物の壁や床などの鉄筋コンクリートの内部で救助が必要な人がいる場所に、

- ①簡単に持ち運べ
 - ②短時間で
 - ③安全に鉄筋コンクリートを破壊し
 - ④内部に進入・救出をサポート
- することができる技術の研究



コンクリート・石材破碎の研究

救助孔開口までの作業時間

東京消防庁

約2時間10分:エンジン式削岩機+電動削岩機

約1時間:エア式削岩機3台

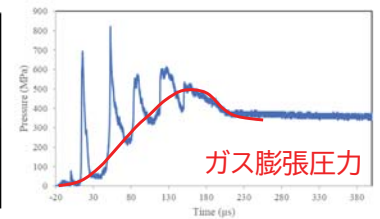
熊本大学

約20分:NM+電動削岩機

飛散物無, 騒音レベル84 dB, 一酸化炭素計無反応



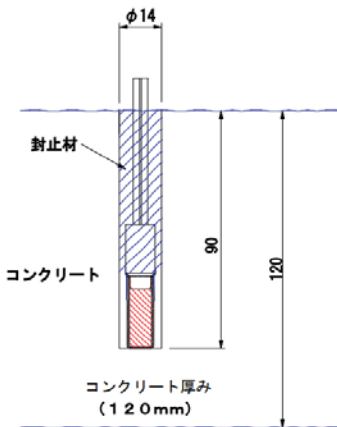
18装薬同時起爆試験



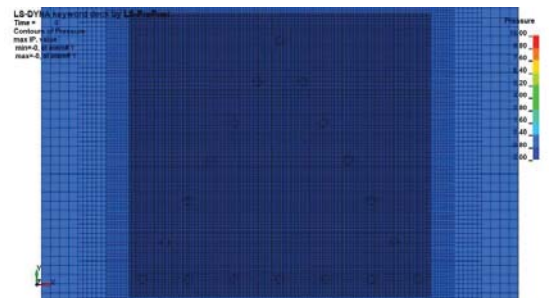
作動圧力(密閉容器内)

120 mm厚 鉄筋コンクリート床
救助孔開口結果

破壊状況のシミュレーション結果



特許出願中



2026年4月8日 定例学長記者懇談会

熊本大学文書館 の取り組み

利活用を拡大し、社会連携を強化します

熊本大学文書館 特別研究員
香室 結美 (カムロユミ) 特任助教



096-342-3951
archives@jimu.kumamoto-u.ac.jp
<http://archives.kumamoto-u.ac.jp/>

写真：
2026年2月 水俣病公式確認70年記念
塩田武史写真展@五高記念館，約800名が来場

熊大文書館が管理する資料

約3万点を 一般公開中

→ 今後、**6万点規模**
まで拡充予定 (一般・研究利用)

2023年度～「歴史資料等保有施設」
(公文書管理法に基づく指定)

- (1) 閲覧 (2) 撮影複写 (3) 貸出し
- (4) レファレンス (5) 展示 を行っています

<https://museum.kumamoto-u.ac.jp/facility/>





- 本館 PR 動画
- 熊大史参考資料
- 資料受入について
- 活動報告

熊本大学文書館は、熊本大学ならびに熊本の地域に関する学術的研究資料の管理を行うことを目的として、平成28年4月に設置されました。令和5年4月1日付けで、本館は「歴史資料等保有施設」として内閣総理大臣の指定を受けました。現在、以下3つのテーマを中心とした資料の収集・整理・保存・公開を行っています。

- 大学の歴史 : 学内の様々な記録、本学教職員や卒業生の保有する資料
- 地域との連携 : 熊本を中心とした地域に関する資料
- 水俣病・免田事件・ハンセン病に関する資料



目録の例

チッソ水俣病関西訴訟関係資料 MD07
(資料ID例: MD07-01-001)

チッソ水俣病関西訴訟関係資料

資料群ID: MD07 目録番号: MD07-01-001~MD07-13-117(1213点, 簿冊単位) ※準備ができたものから順次公開

※資料ID例: MD07-01-001

元所蔵者: チッソ水俣病関西訴訟資料調査研究会, チッソ水俣病関西訴訟を支える会

寄贈受入日: (資料移管日)2021年3月11日(覚書締結日 2020年9月15日)

保管場所: 熊本大学文書館書庫(黒髪北E2) 2024年度 担当: 阿南・香室・古田・木原

資料概要

本資料群は、1982年に提起された国賠訴訟「チッソ水俣病関西訴訟」の原告(不知火海周辺地域からの移住者)、弁護団、医師団、チッソ水俣病関西訴訟を支える会、チッソ水俣病関西訴訟資料調査研究会の横田憲一氏らによって作成・収集され、訴訟・調査研究・執筆活動に用いられてきたものである。関西訴訟に関する資料に加え、他の訴訟や運動団体に関する資料も含まれる。2004年最高裁判決後、支える会の要請により資料整理・管理を担う調査研究会(資料保管拠点: 大阪電気通信大学)が発足された。本資料群の寄贈は、資料の永続的保管と整理・公開を望む支える会の了承を得た調査研究会により、熊大文書館に申請された。訴訟が提起される以前から勝訴に至るまで、患者・原告・支援者・弁護団らがどのように思考し活動してきたのか、約30年間にわたる記録からその詳細な過程を検討することができる貴重な資料群である。

当館における整理の上、中分類として、01 証人尋問関係 02 裁判資料(※準備中) 03 論文・書籍(医学系) 04 論文(自然科学系) 05 論文(人文社会科学系) 06 横田憲一作成・旧蔵 07 市道責作成・旧蔵 08 水俣関係ミニコミ・バラ ほか 09 新潟水俣病 10 反公害運動 11 報道関係 12 チッソ関係 13 国関係 (※順次追加) を設けている。

※「公開可否」(利用可能な範囲)については、いずれの資料も利用申請を受け付けたのちに再確認いたします。

※目録にお気づきの点等ございましたら、お手数ですがご一報ください。 熊本大学文書館 096-342-3951, archives[*]jimu.kumamoto-u.ac.jp ([*] を @ に変換願います)

資料番号	資料名	作成者等	作成・発行年	月	日	媒体	点数	コピー/原本	備考	欄	段	冊	公開可否
MD07-01-001	貝塚俊樹関係	—	1961—1963	—	—	B5紙ファイル	1	コピー	資料、熊本県。	か	12	20	要審査
MD07-01-002	貝塚俊樹氏尋問関連 ③	—	1969—1988	—	—	B5紙ファイル	1	コピー・原本		か	12	18	要審査
MD07-01-003	貝塚俊樹尋問準備 ④	—	1960—1988	—	—	B5紙ファイル	1	コピー		か	12	19	要審査
MD07-01-004	●●氏尋問準備	—	1963	—	—	B5紙ファイル	1	コピー・原本	尋問事項書あり。〔原告〕。	か	13	12	要審査
MD07-01-005	柳瀬健之尋問資料	—	1967—1984	—	—	B5紙ファイル	1	コピー	熊本大学初代学長。	か	13	13	要審査
MD07-01-006	徳臣晴比古氏尋問調査1968.10.15 新潟一訴	新潟地裁	1968	10	15	A4紙ファイル	1	コピー	新潟一次、1審、熊本大学医学部。	か	4	30	要審査
MD07-01-007	甲A910号証 徳臣証言 新潟一訴 1968.10.15	新潟地裁	1968—1999	—	—	B5紙ファイル	1	コピー	新潟一次、1審。	か	4	31	要審査
MD07-01-008	証人調書 証人 細川一	熊本地裁	1970	7	4	B5綴	1	コピー	一次訴訟、1審、チッソ水俣工場付属病院院長。	か	7	11	要審査
MD07-01-009	新潟一訴 斉藤守氏証言(S46/3/1)重要抜粋	—	1971	3	1	B5紙ファイル	1	コピー	東京大学。	か	12	28	要審査
MD07-01-010	熊本地民・昭和44年(7)第522号小嶋照和調書(46.6.24, 46.6.25)	熊本地裁	1972	6	24	B5紙ファイル	1	コピー	1次訴訟、1審、チッソ水俣工場付属病院医師。	か	3	32	要審査
			1972	6	25	B5紙ファイル	1	コピー					要審査



〈熊大における役割 & 特色〉

資料の公開と 社会連携



<https://www.goko.kumamoto-u.ac.jp/>

1 水俣病/ 免田事件/ ハンセン病 関係資料の寄贈受入と一般公開

年間 約 400点利用

※ 免田事件 関係：免田栄氏ご夫妻から直接ご寄贈、当館のみ所蔵

※ 水俣病 関係：水俣病研究会資料、岡本達明資料、関西訴訟資料/ 映像・音声 多数

→ 公式確認 70 年の本年度以降、**水俣病関係資料 3 万点の公開** に取り組む



故 塩田武史氏の妻・塩田弘美氏によるギャラリートークを開催

2 社会連携：展示・イベントの主催【一般公開・無料】

水俣病公式確認 70 年記念「塩田武史写真展」

・会場：五高記念館、2026.2.4～2.21、800 名以上が来場

・各社での報道（熊日、朝日、読売、西日本、共同通信、NHK[全国]、

KAB、KKT、TKU ほか）・・・**「美術手帖」WEB 版に近日レビュー掲載**



会場：熊本大学、250名来場

3 社会連携：展示・イベントの主催【一般公開・無料】

「免田栄文庫展：生きるための読書」 2025.11.2～11.4

2024年に当館に寄贈された約 1100冊から、約60冊を展示

→ **2026 年 市民研究員 3 名 書籍刊行予定** 本の雑誌社より



「免田事件ラジオ番組を聴く会」 2025.11.2

R K K ラジオ報道特別番組「真実を求めて～免田事件が問い続けるもの～」

(制作・著作 株式会社熊本放送、2023 年、第 61 回ギャラクシー賞ラジオ部門選奨)

→ **2026 年 10 月開催予定** ラジオ東京「目撃者の記録・ある死刑囚の手紙」1960 年放送



ディレクターによる番組解説
当館併任職員による再審請求の時事解説

4 ドキュメンタリー制作等への撮影協力・資料提供

NHK「“無実の死刑囚”の遺言 ～免田栄 えん罪事件～」 2022 年放送

KKT「無罪の死刑囚～免田栄は問い続ける～」 2021 年放送

**報道・番組制作等での資料利用について、積極的に対応します
実績を活かし、具体的な資料のご相談にも個別に対応します**





〈本年度〉

資料利活用を 本格拡大！

熊本の地域資料を核とする国際共同研究・社会連携ハブ
＝「知の共創拠点」実現 を目指す
・熊大イニシアティブ 2030 「研究」～「社会との共創」に貢献

大学の社会的責任
SDGs 推進
[大学価値の向上]

熊本の社会的課題の検証に資する アーカイブズ拠点として、機能を強化

- ・全6万点の資料目録WEB公開を目指す ← 水俣病関係 公開担当1名を増員、緊急性高
- ・デジタル化した資料画像をオンラインで公開
(熊大キャンパスミュージアム WEB サイト内「デジタルアーカイブ」の充実、どんな資料があるのかを魅力的に発信する)
- ・産官 / メディアとの協働企画の実施や、資料保存と利活用に向けた連携
(実績と連携強化:RKK、熊日、水俣市、熊本県、相思社、写真家の眼、国水研、京都大学、イエール大学、公害資料館ネットワーク、日本学会会議)

2025年度「有馬澄雄基金」を受け入れました！

※水俣病研究会 代表・有馬澄雄氏 からのご寄附です

文書館資料の利活用に向けたご寄附をお待ちしています



UAAT-KOOU華語教育センターと 本学との連携について

理事・副学長(グローバル戦略・研究地域連携担当)
大谷 順

UAAT-KOOU華語教育センター
国立中山大学 講師 洪 宝芳



1



「UAAT-KOOU華語教育センター」とは

- 台湾・国立中山大学と熊本大学の国際連携事業
- 九州・沖縄地域の国立大学連携「九州・沖縄オープンユニバーシティ(KOOU)」と、台湾の大学連携「台湾国家重点領域国際合作連盟(UAAT)*」の連携により設置

設置

- 令和7年7月15日 開所
- 熊本大学黒髪北キャンパス 多言語文化総合教育棟

活動

- 令和7年10月～ 台湾華語クラス開講
- 対象:本学の学生や教職員および地域住民
KOOU大学の学生・教職員等にも拡大する予定
- 台湾文化体験なども実施

スタッフ

- 教員1名、事務1名(台湾・国立中山大学から派遣)



開所式



授業風景

* 台湾国家重点領域国際合作連盟(UAAT):台湾の12の主要大学によるプラットフォーム
国立台湾大学、国立成功大学、国立清華大学、国立陽明交通大学、国立中山大学、
国立台北科技大学、国立政治大学、国立中興大学、国立中央大学、国立台湾師範大学、
台北医学大学、国立台湾科技大学

2

教育・地域連携の広がり

華語クラスの実施

- これまでに3タームを実施(1ターム:8レッスン)
- 受講者数は増加傾向(41名→55名→62名)
延べ受講者数:158名(学生61名、教職員40名、地域住民57名)
- 本センターの受講をきっかけに、
国立中山大学の短期語学研修等、より発展的な研修参加につながっている
- 語学学習だけでなく、台湾文化体験(剪紙<切り紙>)や冬至の湯圓<タンユエン>体験など)を実施

熊本市との連携

- 11月29日~30日、つながるフェスタで台湾華語体験レッスンを提供
- 2日間で40名を超える参加、熊本における台湾華語への関心の高さが見られた

菊陽町との連携

- 菊陽町中央公民館で台湾華語講座を開始予定
- 7~9月(第2・4土曜日 13:30~)合計6回予定



台湾文化体験



剪紙(切り紙)



体験レッスン

木村 敬 熊本県知事が華語クラスを受講予定

受講予定

第4ターム(令和8年4月20日開始)
月曜13:00-14:30 華語入門A1クラス

目的

- 熊本と台湾の交流促進
- 台湾文化への理解の深化

取材対応(予定)

4月20日(月)14:30~14:40
初回クラス授業終了後10分程度

※ 詳細は別途ご案内

【第4ターム】

令和8年4月20日~7月31日
(5月~6月中旬は担当教員の都合により休講)

受講者募集

令和8年3月26日~4月13日
※定員に達し次第締切



時間	月	火	水	金
13:00-14:30 90分	華語入門A1(1) Aクラス	華語入門A1(2) Aクラス	華語初・中級 A2(4)	華語入門A1(4) Bクラス
14:45-16:15 90分	華語入門A1(4) Aクラス	華語入門A1(2) Aクラス	華語入門A1(2) Bクラス	
17:30-19:00	華語初・中級 A2(5)	華語入門A1(4) Cクラス	華語初・中級 A2(2)	
19:15-20:45			華語入門A1(1) Bクラス	

令和 8 年 4 月 10 日

報道機関各位

令和8年4月8日開催 熊本大学定例学長記者懇談会 報告1

【記者会見のご案内】

富山大学と熊本大学が運営する「先進チタン国際研究センター」の設置について

この度、富山大学と熊本大学では、令和3年4月に設置した「富山大学及び熊本大学で編成する先進軽金属材料国際研究機構」（以下「本研究機構」という。）の下に、チタンに関する研究開発から社会実装、教育・人材育成を加速させるため、令和8年4月に、「先進チタン国際研究センター」（以下「本センター」という。）を共同で設置いたします。

本センターの設置にあたり、富山大学と熊本大学において、下記のとおり共同記者会見を開催します。ついては、取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

記

【共同記者会見】

1. 日時

令和8年4月17日（金）10:00～11:00

2. 場所

【富山大学】

富山大学五福キャンパス（富山市五福3190） 事務局5階 大会議室

【熊本大学】

熊本大学黒髪南キャンパス（熊本市中央区黒髪2-39-1）本部棟1階 大会議室

3. 出席者

【富山大学】

齋藤 滋 富山大学長
 會澤 宣一 富山大学理事・副学長
 （産学連携（理工学系）
 担当）
 柴柳 敏哉 先進軽金属材料国際
 研究機構長
 新家 光雄 富山大学先進チタン
 国際研究センター長
 石本 卓也 富山大学先進チタン
 国際研究センター
 副センター長

【熊本大学】

小川 久雄 熊本大学長
 大谷 順 熊本大学理事
 （グローバル戦略・
 研究地域連携担当）
 山崎 倫昭 先進軽金属材料国際
 研究機構副研究機構長
 木口 賢紀 熊本大学先進チタン
 国際研究センター長

※ 記者会見への参加をご希望の方は、令和8年4月16日（木）12時までに別紙連絡票により、各大学へお申し込みください。

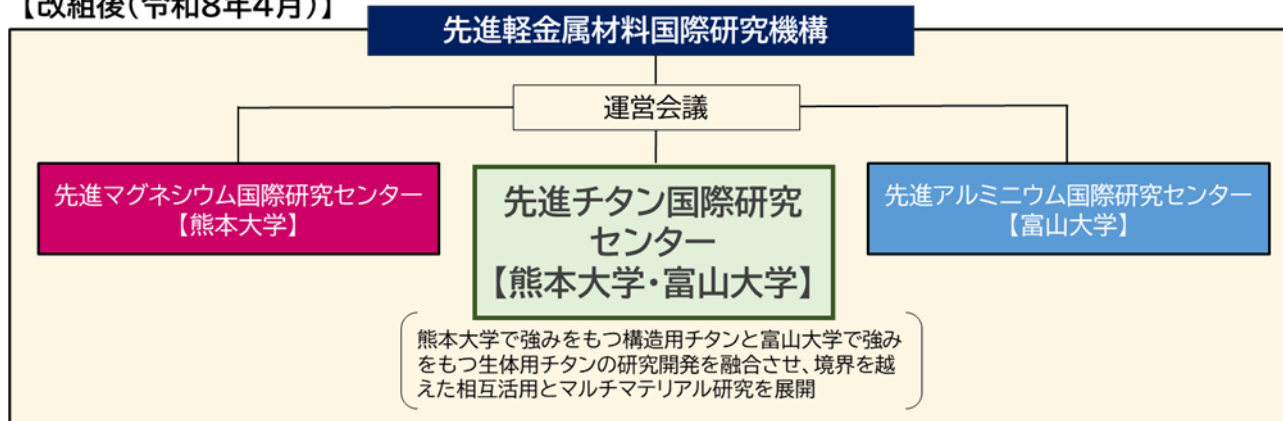
【概要】

本研究機構は、令和4年度に文部科学省の共同利用・共同研究拠点に認定され、三大軽金属（マグネシウム・アルミニウム・チタン）の中核的拠点として、「先進マグネシウム国際研究センター」と「先進アルミニウム国際研究センター」を設置し、国内外の研究機関・研究者との共同研究等を通じて、軽金属材料の研究開発を牽引してきました。

特に、チタン研究に関しては、本研究機構に設置した連携チタン拠点を中心に、研究の強化や人材育成に取り組んできました。近年では、我が国の産業発展、カーボンニュートラル社会の実現、さらには経済安全保障の観点から、他の材料では代替が難しいチタンの重要性が一層高まっています。このため、全国規模でチタン研究に特化した研究機関として、本センターを設置することにいたしました。これにより、アルミニウム・マグネシウム・チタンという三大軽金属材料に対応したセンターが揃い、軽金属材料に関する総合的研究・教育拠点が整備されることとなります。

本センターでは、富山大学が強みをもつ生体用チタンと、熊本大学が強みをもつ構造用チタンの研究開発をさらに融合・発展させるとともに、共通基盤となる材料設計・分析評価技術や大型設備の相互活用などによるチタン研究の推進ならびにマグネシウムやアルミニウムとのマルチマテリアル研究の展開を予定しております。本センターの設置によって、本研究機構は、軽金属材料の先導的研究・教育拠点及び共同利用・共同研究拠点としての役割を果たし、カーボンニュートラル社会とウェルビーイング社会の実現に貢献してまいります。

【改組後(令和8年4月)】



以上

【問い合わせ先】

- 富山大学
(本件に関して)
富山大学 研究推進部研究振興課
(TEL : 0766-25-9270)
- (報道に関して)
富山大学 総務部総務課広報・基金室
(TEL : 076-445-6028)
- 熊本大学
熊本大学 自然科学系事務課
(TEL : 096-342-3520)

参加をご希望の方は、本紙（連絡票）をFAXいただくか、同内容をEメールで担当までご送信ください。準備の都合上、各大学へ締切日時までにお申し込みをお願いいたします。

【連絡票】

**富山大学と熊本大学が運営する
「先進チタン国際研究センター」の設置について**

日 時：令和8年4月17日（金） 10時00分～11時00分

会 場：【富山大学】
富山大学五福キャンパス（富山市五福3190） 事務局5階 大会議室
【熊本大学】
熊本大学黒髪南キャンパス（熊本市中央区黒髪2-39-1）
本部棟1階 大会議室

貴社名	
ご出席者名 ご連絡先 参加会場	氏名 TEL E-mail 富山大学 ・ 熊本大学 (ご希望の参加会場に○をつけてご提出ください。)

※会場へのご来場時にお名刺をご提出ください。

提出先（※令和8年4月16日（木）12時締切）

【富山大学】

富山大学総務部総務課 広報・基金室

FAX 送付先：076-445-6063

Eメール送信先：kouhou@adm.u-toyama.ac.jp

【熊本大学】

熊本大学教育研究支援部 自然科学系事務課 総務人事担当

FAX 送付先：096-342-3510

Eメール送信先：szk-mrc@jimu.kumamoto-u.ac.jp

被災地支援活動を継続したい！
未来へ「たすけあい」を繋ぐために。
ご支援をお願いします！

寄附募集中
250万円



令和8年4月8日開催
熊本大学定例学長記者懇談会
報告2

活動の歩みはこちら



熊本大学 公認 クラウドファンディングプロジェクト

※本プロジェクトへのご寄附は、**税制上の優遇措置**が適用されます

熊本大学 工学部公認サークル
学生災害復旧支援団体

「熊助組」 (くますけぐみ)



2027年に20周年を迎えます！

私たち学生災害復旧支援団体「熊助組」は、2007年から学生が主体となり、被災地での復旧・復興支援活動を続け、2027年には20周年を迎えます。瓦礫撤去から心のケアまで、学生ならではの情熱と行動力で多くの被災地に寄り添い、地域と未来を繋ぐ活動をしてきました。

学生で未来を守る！その想いを継承するために！

しかし、活動を続ける中で、保険料や資機材の維持費、被災地への交通費などの確保が難しくなっています。このままでは、安全な活動の継続や次世代育成に影響が出かねません。

未来の防災・減災を担う人材を育て、被災地に寄り添う支援が続けられるよう、皆様の温かいご支援を、心よりお願い申し上げます。

■寄附金の使い道

- ①被災地支援のための移動、活動費（優先）
- ②安全確保、備品、保険等の整備
- ③次世代育成・交流・20周年事業



ご支援の御礼には、コースに応じて「オリジナルステッカー」や「20周年記念冊子」に加え、「防災教室の開催」などもご用意しています。詳しくは裏面をご覧ください。

防災教室の一例▶



■プロジェクトに関するお問い合わせ
熊本大学 工学部公認サークル 学生災害復旧支援団体「熊助組」
Tel : 096-342-3268 (平日9:00~17:00)
Mail : kumasukegumi@kumamoto-u.ac.jp



■ご支援の手続きに関するお問い合わせ
株式会社グローバル・クラウドファンディング
第二種金融商品取引業者 九州財務局長(金商)第20号
加入協会：一般社団法人第二種金融商品取引業協会
熊本市中心区下通1-9-9 TEL: 096-201-1851



支援コース一覧
は裏面から

ご支援のお申込み詳細は裏面をご覧ください



コースの選択について 以下のコースよりご選択ください

コース・支援金額		リターン内容
A	寄附3,000円コース	・寄附金領収書 ・お礼のメール
B	寄附5,000円コース	・寄附金領収書 ・お礼のメール ・「熊助組」オリジナルステッカー（2026年7月末までに送付）
C	寄附10,000円コース	・寄附金領収書 ・お礼のメール ・「熊助組」オリジナルステッカー（2026年7月末までに送付） ・20周年記念冊子（2027年度内送付） ・20周年記念冊子へのお名前掲載（希望者のみ）
D	寄附30,000円コース	
E	寄附50,000円コース	
F	寄附100,000円コース	・寄附金領収書 ・お礼のメール ・「熊助組」オリジナルステッカー（2026年7月末までに送付） ・20周年記念冊子（2027年度内送付） ・20周年記念冊子へのお名前掲載（希望者のみ） ・「熊助組」防災教室の開催（希望者のみ/2028年12月までに実施）
G	寄附300,000円コース	
H	寄附500,000円コース	
I	寄附1,000,000円コース	・寄附金領収書 ・お礼のメール ・「熊助組」オリジナルステッカー（2026年7月末までに送付） ・20周年記念冊子（2027年度内送付） ・20周年記念冊子へのお名前掲載（希望者のみ） ・「熊助組」防災教室の開催（希望者のみ/2028年12月までに実施） ・感謝状贈呈（2027年度内実施）

※本プロジェクトへのご寄附は、熊本大学への寄附として税制上の優遇措置が適用されます。※寄附をされた方には、寄附金受領後、熊本大学より「寄附金領収書」を発行いたします。※寄附金領収書は、2026年6月頃に発行し、お手元に届くのは2026年7月末までを予定しております。※冊子への「お名前掲載」を含むコースは、下記申込欄に掲載を希望する・しないを表明いただき、掲載するお名前（任意のニックネームも可）をご記入ください。※20周年記念事業等の状況により、スケジュールは前後する可能性があります。変更がある場合は、活動報告等を通じて随時ご報告いたします。※詳しくは専用サイトをご覧ください。

お申込みについて ご支援方法は①または②よりご選択ください

① 専用サイトからお申込み

右記の二次元コードよりお申込みください。

専用サイトからお申込みいただき、クレジットカード又はお振込によるお手続きをお願いします。
 ※専用サイト未会員の方は、ご支援のお申込みとあわせて会員登録（無料）のお手続きが行われます。



② 申込用紙からお申込み（専用サイトでのお申込みが難しい方）

下記のお申込み欄に必要事項をご記入ください。

- ・ご記入後、申込用紙を事務局へご提出ください。（郵送・FAX・メール等）
 ※お申込み情報を事務局にて登録させていただきます。
 ※メールアドレスを記載いただいた場合は、お申込み内容と入金確認のメールが届きます。
- ・下記口座へお振込をお願いいたします。

【申込書類提出先】

株グローバル・クラウドファンディング

郵送：〒860-0807
 熊本県熊本市中央区下通1-9-9
 Fax：096-201-3610
 Mail：info@glocal-cf.com

お振込先：肥後銀行 本店営業部 普通預金 2574025
 口座名義：株式会社グローバル・クラウドファンディング

ふりがな		コースと口数	<input type="checkbox"/> コース × <input type="checkbox"/> 件	<input type="checkbox"/> 返戻不要 <input type="checkbox"/> 返戻あり
お名前		複数のコースのお申込みも可能です	<input type="checkbox"/> コース × <input type="checkbox"/> 件	
住所	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>			
メールアドレス	@	電話番号		
応援コメント・備考	お振込額		円	
お名前掲載の方	希望する ・ 希望しない	掲載するお名前		

※この度はプロジェクトへのご支援、誠にありがとうございます。※お申込み内容につきましては、ご登録のメールアドレスへ内容確認のメールが届きます。また、今後のプロジェクトに関する案内等でメールを送信させていただきますのでご了承ください。※本用紙にて会員登録ならびに支援をお申込み頂いた方は、会員利用規約（<https://www.glocal-cf.com/terms>）及びプロジェクト支援に関する規約（https://www.glocal-cf.com/terms_project）に同意頂いたものとさせていただきます。規約は専用サイトをご覧ください。

令和8年4月8日開催
熊本大学定例学長記者懇談会
報告3

学びを伝える災害は次

デジタルアーカイブ室
TERADAへようこそ



Team of Education and
Research According Digital Archive

熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター
地域デザイン部門 デジタルアーカイブ室 [TERADA]

熊本地震から10年

災害は忘れた頃に
やってくる

2026 4.15 WED - 4.21 FRI

蔦屋書店 熊本三年坂
(地下1階 イベントスペース)

TALK EVENT

熊本地震から10年トークセッション
【デジタルアーカイブ室と熊助組】

4.19 SUN 14:00-15:00



竹内裕希子 先生
(熊本大学教授)

+
熊助組メンバー
(熊本大学学生災害復旧支援団体)

要申込
参加無料

定員

各30名(先着順)

※定員に空きがある場合には、
当日参加も受け付けます。

申込方法

QRコードまたはお電話にて
お申し込みください。



テラダトラヒコ